



長期経済展望 2026年6月

## 断裂する世界とレジリエンス

PIMCOの長期経済展望(セキュラー・アウトルック)は、向こう5年間の世界経済と金融市場を形作る構造的要因を分析します。世界は現在、「断裂(rupture)」の渦中にあります。グローバル化、政策による下支え、そして低ボラティリティといった従来の前提に依拠することはできないでしょう。しかしながら、債券利回りが一世代ぶりの水準へとリセットされたことを背景に、投資機会は依然として豊富に存在するとみています。

### マクロ経済環境

国際的な同盟関係の分断、財政のひっ迫、そして大規模なAI投資の進展のもと、世界経済の先行きは、国や資産クラスによって異なる展開をたどる可能性があります。



#### 「移行」ではなく「断裂」

経済の分断が深まることで、ボラティリティは高まり、サプライチェーンや資本フローの再編が進むとみています。



#### 試される「レジリエンス(強靱性)」

内外の政策が経済に及ぼす影響は一段と強まっており、地域間および資産クラス間のばらつきを拡大させています。



#### ファット・テール 左右双方に広がるリスク

AIは大規模な設備投資を促しており、生産性向上とディスインフレを後押しする可能性がある一方で、ばらつきを一段と広げる可能性もあります。

### 投資機会

「断裂」後の世界においては、流動性が高く信用力に優れた債券を軸に、クレジットでは質を重視し、幅広い国際分散を効かせることで、安定したポートフォリオが構築されます。今後は、大胆さよりも規律、リスクの追求よりも強靱性が重要となります。



#### 債券利回りの優位性を活用

質の高い債券は、魅力的なインカム収益の源泉となるだけでなく、ポートフォリオの基盤となり、競争力のあるリスク調整後リターンへの追求に寄与します。



#### クレジット選別の重要性

信用サイクルは転換点にあります。公募・私募の両市場において、信用力、構造、流動性のバランスを見極めることが重要です。



#### 意図的な分散投資の追求

アクティブ運用は、構造的要因や個別要因から生まれる超過収益機会を捉えつつ、ポートフォリオの強靱性向上につながります。

図表は説明のみを目的としたものです。出所:PIMCO。2026年6月現在。

「ファット・テール」とは、結果の分布がより広がり、プラス・マイナス双方のシナリオにおいて、平均から大きく離れた結果が生じる可能性が高まることを指します。「超過収益(アルファ)」とは、アクティブ運用により付加価値を創出し、ベンチマークに対する超過リターンを獲得することを指します。

見通しの詳細はこちらから [pimco.com/jp/ja/secular](https://pimco.com/jp/ja/secular)

## 過去の実績は将来の運用成果を保証または示唆するものではありません。

特定の証券または証券グループの信用力は、ポートフォリオ全体の安定性や安全性を保証するものではありません。個々の銘柄または発行体の信用格付は、それらの信用力を示すために付与されており、一般的に、スタンダード・アンド・プアーズ、ムーディーズ、フィッチの格付は、それぞれ最高位のAAA、Aaa、AAAから最低位のD、C、Dまでの幅があります。

インデックスに直接投資することはできません。

金融市場動向やポートフォリオ戦略に関する説明は現在の市場環境に基づくものであり、市場環境は変化します。本資料で言及した投資戦略が、あらゆる市場環境においても有効である、またはあらゆる投資家に相応しいという保証はありません。投資家は、自らの長期的な投資能力、特に市場が悪化した局面における投資能力を評価する必要があります。見直しおよび戦略は予告なしに変更される場合があります。

ポートフォリオの構成は、サンプル・ポートフォリオの一例を示したものであり、今後も同様の構成が維持されること、または同様のリターンが達成されることを保証するものではありません。

**全ての投資**にはリスクが伴い、価値は下落する場合があります。**債券市場**への投資は市場、金利、発行体、信用、インフレ、流動性などに関するリスクを伴うことがあります。ほぼ全ての債券及び債券戦略の価値は金利変動の影響を受けます。デュレーションの長い債券及び債券戦略は、より短い債券及び債券戦略と比べて金利感応度と価格変動性が高い傾向にあります。一般に債券価格は金利が上昇すると下落します。低金利環境下ではリスクが高まります。債券取引におけるカウンターパーティーの取引能力の低下が、市場流動性の低下や価格変動性の上昇をもたらす可能性があります。債券投資では、換金時に当初元本を上回ることも下回ることもあります。**外貨建てあるいは外国籍の証券**への投資には投資対象国の通貨価値の変動や経済及び政治情勢に起因するリスクを伴うことがあり、新興成長市場への投資ではかかるリスクが増大することがあります。**アセット・ベースド・レンディングおよび資産担保商品**への投資には、投資のパフォーマンスや価値に悪影響を及ぼす可能性のあるさまざまなリスクが伴います。これらのリスクには、信用リスク、流動性リスク、金利リスク、オペレーショナル・リスク、ストラクチャー・リスク、スポンサー・リスク、モノライン保証リスク、その他の法的リスクが含まれますが、これらに限りません。さまざまな資産クラスにわたる資産担保証券は、想定された投資目的を達成できない場合や、リターンを生まない場合があり、そのパフォーマンスは金利変動に大きく左右される可能性があります。**住宅ローンおよび商業用モーゲージ・ローン**、ならびに**商業用不動産デット**への投資には、期限前返済、延滞、担保権実行、損失リスク、サービシング・リスク、不利な規制変更等のリスクが伴います。不良債権の場合には、こうしたリスクが高まる可能性があります。**モーゲージ担保証券および資産担保証券**への投資は極めて複雑であり、金利変動に対して高い感応度を有する場合があります。また、期限前返済リスクを伴います。債務担保証券(CDO)などの**ストラクチャード商品**も極めて複雑な投資対象であり、通常、高度のリスクを伴います。これらの商品への投資には、投資元本を上回る損失をもたらす可能性のあるデリバティブ商品が含まれる場合があります。**プライベート・クレジット**は、流動性リスクを伴う可能性のある非公開証券への投資を含みます。プライベート・クレジットに投資するポートフォリオではレバレッジが利用される場合があり、投資損失のリスクを高める投機的な投資慣行を伴うことがあります。さらに、プライベート・クレジットへの投資は、不動産関連のリスクを伴う場合があります。これには、新たな規制または法改正、不動産の魅力や立地、テナントの財務状況、環境関連その他の法令に基づく潜在的責任、自然災害、およびマネージャーの制御を超えるその他の要因が含まれます。**銀行およびその関連事業体**への投資は、広範な規制の対象となる極めて複雑な分野であり、そのような事業体への投資は、支配者責任その他のリスクを生じさせる可能性があります。**ディストレスト・ローンおよび破綻企業**への投資は投機的であり、デフォルトした債務の回収には大きな不確実性が伴います。**高利回りで相対的に格付けの低い有価証券**には、格付けの高い有価証券よりも高いリスクが伴います。そのような有価証券に投資するポートフォリオは、そうでないポートフォリオと比べて、より高水準の信用リスクや流動性リスクにさらされる場合があります。**ローン担保証券(CLO)**は高水準のリスクを伴う場合があり、適格投資家のみへの販売が想定されています。投資家は投資資金の一部または全部を失う可能性があり、キャッシュフローの分配を受けられない期間が生じる場合もあります。これらの投資は、信用、デフォルト、流動性、マネジメント、価格変動、金利などのリスクにさらされます。マネジメント・リスクとは、PIMCOが用いる投資手法およびリスク分析が望んだ結果を生まないリスク、また、政策や変更等が戦略の運用においてPIMCOが利用可能な投資手法に影響を及ぼすリスクを指します。本資料における「割安(cheap)」および「割高(rich)」という用語は、一般に、ある証券または資産クラスが、その過去平均および運用会社の将来見通しの双方と比較して、大幅に過小評価または過大評価されていると判断されることを指します。将来の成果は保証されず、証券のバリュエーションが利益を保証したり損失を回避したりするものではありません。本資料には、本資料作成時点でのPIMCOの見解が含まれていますが、予告なしに変更される場合があります。本資料は情報提供を目的として配布されるものであり、投資助言や特定の証券、戦略、もしくは投資商品の推奨を目的としたものではありません。本資料に記載されている情報は、信頼に足ると判断した情報源から得たものですが、その信頼性について保証するものではありません。

ピムコジャパンリミテッドが提供する投資信託商品やサービスは、日本の居住者であり、かつ法律による制約のない方に対して提供するものであり、かかる商品やサービスが許可されていない国・地域の方に提供するものではありません。投資判断にあたっては、必要に応じて投資の専門家にご相談ください。本資料には、マネージャーの見解が含まれていますが、その見解は予告なしに変更される場合があります。和訳の作成にあたっては、正確性および完全性の確保に十分配慮しておりますが、その正確性および完全性を保証するものではなく、原文と本和訳との間に齟齬がある場合には、英語版原本が優先します。本資料の一部、もしくは全部を画面による許可なくして転載、引用することを禁じます。PIMCOは、アリアンツ・アセット・マネジメント・オブ・アメリカ・エルエルシーの米国及びその他の国における商標です。©2026、PIMCO。

## ピムコジャパンリミテッド

東京都港区虎ノ門2-6-1 虎ノ門ヒルズ ステーションタワー19階  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第382号  
加入協会:一般社団法人資産運用業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会